

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	言語聴覚臨床センターわらし					公表日	令和7年 2月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	必要に応じて机の配置を変える等して、活動のスペースを広げている。		整理整頓を行う。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	日によって児童発達支援と放課後等デイサービスの利用数が異なるが、臨機応変に配置している。		職員の休みが重ならないようにする。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	利用者にイラスト等で視覚支援し、床に物を置かず、活動スペースを広くとっている。		目隠しなどを用いて、よりすっきりとしていく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	室内は季節に応じた壁面を掲示し、床に不要な物は置かない。		時間を見つけて、より清潔に努めていく。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	療育室の利用やパーテーションで仕切るなどして工夫している。		今後も引き続き工夫していく。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	朝のミーティングや業務連絡ノートを活用し、共有事項の確認。		欠勤や送迎等で職員全員に伝達が不十分。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	朝のミーティングや業務連絡ノートを活用し、職員間で話し合い、対応している。		欠勤や送迎等で職員全員に伝達が不十分。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	出た意見を共有し、利用者の支援に活かしている。		自分から発信しない職員の声も拾って、意見を取り入れていく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	現在は行っていません。		要望があれば、今後外部評価の活用を検討したいと思います。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	DR検定や虐待研修、感染研修など、積極的に実施。		研修の機会があれば参加を検討していく。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	1	5領域を踏まえたプログラムを立案し、サニーサイドで公表している。		更に一人一人の利用者に合わせてカリキュラムを工夫していく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	半年に一回面談を行い、職員間でも支援方法を検討し、作成している。		今後も現状を継続していく。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	面談前と面談後に支援に関する話し合いを行っている。		今後も現状を継続していく。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	朝のミーティングで面談内容や今後の支援方法について共有している。		今後も現状を継続していく。	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	日々の支援で気づいた点を職員間で話し合うなどして、全体で確認している。		今後も現状を継続していく。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい	9	0	各項目の中から利用者にとって必要な目標を設定し、職員間で検討、支援している。		今後も現状を継続していく。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	大まかなカリキュラムはサニーサイドで企画し、それに沿って当日の支援する職員で内容を決定していっている。	今後も現状を継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	日々、リーダーを決め、色々な方向や様々なレクリエーションが提供できるようしている。	今後も工夫していく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	集団の中での療育だけでなく、個別での療育も取り入れている。	今後も現状を継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	リーダーがタイムスケジュールを企て、それを基に職員の役割や支援内容について話し合っている。	今後も現状を継続していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	気付いた点や利用者の様子を業務連絡ノートに記入し、後日のミーティングで共有と検討を行っている。	業務連絡ノートに記録するように努めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	ノートに書かれていたことは、後日ノートに記録している。	大きな事柄しか書けていないので、より記入できるよう努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	6ヶ月に1回は行い、見直している。	今後も職員間で連携して、見直しを行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	開催の声掛けがあれば、児童発達支援管理責任者が参加し、職員に内容を伝達している。	今後も継続していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要に応じて利用者の情報交換を行い、同じ方向で支援している。	今後も必要に応じて整えていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	必要に応じて利用者の情報交換を行い、同じ方向で支援している。	今後も継続していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	適宜、情報の引き継ぎを行い、スムーズに移行できるようにしている。	今後も継続していく。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
保護者への説明等	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	今後、必要に応じて検討していきたい。	要望があれば、法人全体で検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	今後、必要に応じて検討していきたい。	要望があれば、法人全体で検討していく。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	サービス提供記録や送迎時を通して、様子をお伝えしている。	今後も現状を継続していく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	お迎え時や面談時に申し出があれば、助言を行っている。	今後も現状を継続していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	見学や契約時に説明している。	今後も現状を継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談時にヒヤリングを行い、その内容を踏まえて利用者の利益につながるよう作成している。	今後も現状を継続していく。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	口頭で支援計画書の内容を説明し、訂正や追加がないか確認し、同意を得ている。	今後も現状を継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	送迎時や面談時に保護者の気持ちに寄り添い、助言を行っている。	今後も現状を継続していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	年に1回を目安に保護者会を開催し、支援している。	今後も現状を継続していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	相談や苦情について職員間で検討し、適切に対応している。	今後も現状を継続していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	定期的に通信（サニーサイド）やスタッフブログで発信している。	今後も現状を継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	シユレッダーや金庫を用いて、個人情報の取扱いを徹底している。	今後も現状を継続していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	利用者や保護者の気持ちに寄り添い、対応している。	今後も現状を継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	職員がいつでも見られる場所にマニュアルを置いたり、災害が起こった時の流れをチャート式のお手紙でわかりやすく配布している。	今後も現状を継続していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	1ヶ月に1回、避難訓練を実施している。	今後も現状を継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	半年に1回、アセスメントの聞き取りを行い、職員に共有している。	今後も現状を継続していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	半年に1回、アセスメントの聞き取りを行い、職員に共有している。	今後も現状を継続していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全委員会を基に定期的に研修を行い、安全管理意識を高め、支援している。	今後も現状を継続していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	他害がある方には身体拘束の同意書を得る等して、必要に応じて連携している。	今後も現状を継続していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	業務連絡ノートやヒヤリハットに記入し、職員間でその都度対応している。	今後も現状を継続していく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に研修を行い、日々の支援に活かしている。	今後も現状を継続していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	3つの条件がそろった時のみ一時的に拘束し、速やかに介助できるよう利用者の様子を見て対応している。	今後も現状を継続していく。

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	言語聴覚臨床センターわらし		
○保護者評価実施期間		2024年 8月 9日	～ 2024年 8月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間		2024年 8月 9日	～ 2024年 8月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置人数が多く、支援の幅が広いこと。	職員の人数が多い為、利用者について多角的に見て、支援方法を検討している点。	ミーティングや面談を活用し、利用者により良い支援が行えるようにしていく。
2	他の児童発達支援や放課後等デイサービスと同じ建物内にあること。 →他者との関わり	利用者の交流を図ったり、玩具やレクリエーションがマンネリ化しないよう、物の貸し借りを行っている点。	利用者のできる事や人間関係をより伸ばしていったり、職員のスキルアップに繋げていきたい。
3	同じ建物内に専門職が常駐していたり、相談支援員と連絡がとりやすく、利用者について相談しやすいこと。	支援方法や利用者の事で悩んだ時には相談し、適切な支援を行えるように意識している。	支援員一人一人が利用者の様子をより深く観察したり、気持ちに寄り添ったり、相談しやすい環境を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や家族支援プログラム等の実施を、広く知らせられていない点。	開催の手紙は配布しているが、日程が少なく合わなかつたり、ニーズのリサーチ不足。	保護者の方がどのような情報を望まれているかリサーチし、都合をつけやすいように事前に日時を決め、開催の伝達を行っていく。
2	物の収納場所が少ないとこと。	倉庫がなく、棚に玩具や教材を置いているが、雑多に置いているように見える。	目隠しやこまめにものの整理を行う事で、物を増やさないよう環境維持に努める。
3			

## 公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		言語聴覚臨床センターわらし							公表日	令和7年 2月 1日		
									利用児童数	27	回収数	18
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	0	1	・室内で運動会ができるくらい、十分広い。 ・室内も広く、屋外にもスペースがあり、満足している。		規定以上の広さの確保を行い、定期的な見直しや改善を行っていきます。また、面談等で建物の見取り図や、建物内を実際に見ていただき、お伝えしていきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	1	・十分 ・多くて安心している。		今後も職員の人数を確保し、面談の時により一層保護者に説明を行います。			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	15	0	0	3	・絵の説明もあって視覚的にわかりやすい。 ・視覚支援してほしい。		階段には手すりを設置し、フラットな空間になっています。より利用者にわかりやすく視覚支援していきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	2	・清潔で活動しやすいと思う。		フラットな空間を心掛け、危険がないよう配慮します。また、保護者に面談時に実際に見ていただき、更にお伝えしていきます。			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	15	3	0	0	・特性に合わせた支援がされている。 ・就学後も専門職の療育があれば嬉しい。		専門職の意見を取り入れ、支援していきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0	・合っていると思う。		現状を維持していきます。			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	・保護者が気付かない特性などを踏まえた支援を提案してくれる。 ・困っている事を聞いて下さり、子どもに合った支援計画書を作成していただいている。		現状を維持していきます。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	0	・必要な支援を具体的に話し合い、適切な支援内容が設定されています。		面談時に詳しく説明していきます。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	・計画書に沿った支援だと思います。		現状を維持していきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	0	・長期休暇も様々な活動で楽しく活動できている。 ・固定化されておらず、色々な工夫がされていると思います。		現状を維持していきます。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4	1	1	12	・私は不参加にしましたが、交流の機会がありました。 ・わかりません。		送迎時に意見交換ができたらと思います。			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	・説明がありました。		支援内容をより具体的にお伝えすると共に、引き続き保護者への丁寧な説明を心掛けます。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	・説明がありました。		引き続き、より丁寧な説明を行います。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	0	1	1	・行われていると思います。		今後、提供の機会を増やしていきます。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0	・共通理解ができていると思います。 ・毎日、ノートや送迎時に沢山できごとを教えていただいている。		送迎時により詳しくお伝えし、支援について一緒に考えていきます。			

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	0	0	0	・子育てに困り事がある時は、どのように工夫すれば良いかのアドバイスをもらいます。	現状を維持していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	・共感的に支援をしていただいています。	現状を維持していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	0	5	・家族への支援をされています。 ・兄弟同士の交流や支援に関しては、わからないです。	ご要望に合ったテーマの保護者会を行っていきます。きょうだいの交流は、今後検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	1	・相談可能だと説明があり、対応して頂いています。 ・学校からのつながりで相談させていただいた際、十分な配慮をしていただけて有難く感じました。	今後も相談があれば迅速に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0	・送迎時に一日の様子の伝達があり、連絡帳でも活動内容が知れます。	より丁寧に伝えています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	4	・活動内容などを定期的にお知らせするプリントがあります。	説明も行なながら知らせています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	0	0	2	・十分されていると思います。	鍵付きボックスを設置している等、面談時に留意している事をお伝えしています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	0	・されていると思う。 ・年に1回、避難の流れのプリントをもらう。	今後も継続していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0	・お友達と防災訓練をしたと定期的に聞きます。	今後も継続していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	・安全に支援を受けていると思います。	今後も継続していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	0	0	・小さな怪我でも、説明や報告がしっかりとあります。	説明漏れがないよう留意していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	・子どもは安心して通所しています。	今後も安心して通所していただけるよう、支援していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	・通所できる日をとても楽しみにしている。 ・毎日、早く行きたいと言っています。	楽しみにして頂けるようカリキュラムや関わりを工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	・もう少し預かり時間が長いと嬉しい。 ・いつもありがとうございます。安心して通わせる事ができています。 ・事業所の支援にとても満足しています。	より満足していただけるよう、可能な限り対応していきます。